

平成 30 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 30 年 1 2 月 5 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・准教授

申 請 者 名 佐藤 元樹

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ 学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	日本英語学会第 36 回大会への参加および研究発表
事業実施期間	平成 30 年 1 1 月 2 4 日～ 平成 30 年 1 1 月 2 5 日
成 果 の 概 要	<p>日本英語学会第 36 回大会(横浜国立大学)において、「<i>Wh</i> 融合体の形態・統語構造について」という題目で研究発表を行った。</p> <p><i>Wh</i> 融合体とは、(1) の斜字体で示されているように、縮約された間接疑問文が、文に組み込まれ、「句」のように振る舞う現象である。</p> <p>(1) John invited <i>you'll never guess how many people</i> to his party.</p> <p>近年の研究では、<i>Wh</i> 融合体を一種の挿入句と見なす分析が提案され、広く支持されている。</p> <p>本発表では、<i>Wh</i> 融合体を挿入句として文に組み込む分析には、経験的および理論的問題点があることを指摘し、<i>Wh</i> 融合体は挿入句ではなく、複雑な語を形成していると提案した。本提案により、(i) 融合体の分布特性、(ii) 融合体に観察される一致現象、(iii) 融合体の介在節に見られる不透明性が説明されることを示した。また、本提案の帰結として、統語と形態のインターフェースが、従来仮定されてきたような形態部門から統語部門への一方通行の関係ではなく、双方向の関係があることを示し、本分析が言語理論の発展に寄与することを論じた。</p>